

アンカーキャップ瓶用

ゴムパッキングに関する研究(第3報補遺)

- (1. 各社製輪ゴムの耐油試験—第2法)
- (2. 各社製輪ゴムの比重測定)

西 川 英 男
岡 信 子

1. 各社製輪ゴムの耐油試験—第二法

第3報に於て輪ゴムの耐油試験は第1法による試験結果のみを報告したが茲に其補遺として第2法による耐油試験結果を左に報告せん。

1. 耐油試験法—第2法

先づ試料3本を精秤し之を酸價0.1の綿実油中に37°Cで1週間浸漬したる後取出して表面に附着する油を充分除去して後再び秤量し其重量増加を求めた。

尚硬度の変化をも測定した。

2. 耐油試験結果

前述の方法により各社製輪ゴムの耐油試験結果を求むれば次表の如し。

試料番号	製造会社別	製造年月	硬 度		重量増加(%)
			試 験 前	試 験 後	
4	O	23. 1	78	60	43.7
9	R	23. 8	70	48	37.8
2	K	23. 8	75	60	36.1
8	I	23.10	78	55	31.3
3	K	23.10	78	62	29.5
7	I	23. 8	73	61	25.7
1	K	23. 1	80	68	23.2
5	T A	23. 8	82	71	21.1
10	S	23. 8	82	66	18.9

2. 各社製輪ゴムの比重測定

同じく第3報の追加として各社製輪ゴムの比重を測定した。

尙比重測定法は日本標準規格第 347 号に依つた測定結果下の如し

試料番号	製造会社別	製造年月	比 重
9	R	23. 8	1.88
10	S	// //	1.78
3	K	23.10	1.69
7	I	23. 8	1.68
4	O	23. 1	1.67
2	K	23. 8	1.61
1	K	23. 1	1.59
5	T A	23. 8	1.57
6	T B	// //	1.56